



口加だより

平成27年11月30日発行
長崎県立口加高等学校
第8号

あやめが丘の窓から

Make it Note

校長 下釜 祐保



岩手の知己からメールが届いた。今降っている雨が今夜には雪になるらしい。暖かい秋の日が続いていたが、期末考査の開始とともに南国・九州も急に寒くなった。11月23日は二十四節季のひとつ「小雪（しょうせつ）」だった。立冬から約2週間。初雪がちらつく頃、本格的な冬の到来がすぐそこに迫っている時季をいうのだが、季節の巡りの正確さに驚かされる。

この季節、本屋の前を通ると店頭で、新年の手帳やダイアリー・ノートが並んで目を引く。私は学校に籍をおく者として、“年度”毎の物を使うので、この時期に購入することはない。しかし、工夫に満ちた幾種の商品陳列は気になるものだ。

真っ白な新年の手帳を手にとると、どのような計画が入るのかと楽しみでもあるし、これだけはやりたいと記入することで決意も定まり、奮起したいと気持ちも高まる。

この1年間、お世話になった手帳をめくるとあれこれ思い出すことが多い。あれはこうすべきだった、この頃にもう少しかやっていたらなど反省も多い。同時に、あの時は誰々にお世話になった、この日の出会いがなければなど、改めてしみじみと感謝する人も多い。

「革命的な感動ノート」をキャッチコピーとするノートが市販されている。ノートのページ表面には玉ねぎの成分が塗られており、この成分が書く摩擦で気化し、その刺激で涙がこぼれるという仕組みらしい。「印象的にメモをとることができる。だから忘れることもありません」とは、販売会社のCEOのセールス。

手帳は自己管理ツールといわれる。スケジュールやタスク管理だけでなく、夢や目標、日常の出来事などを書き込むツールへと、変化を遂げている。今や手帳を上手く使いこなすことは、夢実現あるいは目標達成のひとつのメソッドである。

本校では、『Make it Note』なるオリジナルの日々の記録帳を全校生徒が活用している。これこそ、口加高生の自己管理ツールなのだ。上手く使って、夢実現に生かして欲しい。



12月行事予定

日付	全 校	1年	2年	3年
1 火	考査最終日 午後ロカロタイム 歳末助け合い街頭募金			
2 水	補習再開			
3 木			修学旅行結団式	
5 土	GTEC			
8 火			修学旅行(~11日)	
11 金	県高等学校総合文化祭			
12 土		補習		対外マーク模試
13 日				対外マーク模試
14 月	1・2年生三者面談(~28日)			
16 水	中高連携(国語)			
17 木	LHR:主権者教育			
19 土		県一斉模試 (午後)講演会		補習
21 月				
23 水	天皇誕生日			
24 木	大掃除 終業式			
25 金	冬季補習(~28日)			

《その他の行事》

- 生活創造コース.....5日(土)クリスマスお話し(2年)
12日(土)家庭科技術検定洋服1級(3年)
15日(火)保育園実習④(3年)
- バスケット.....20日(日)諫早協会杯
- ソフトテニス.....13日(日)1年生大会
- バレーボール.....26日(土)・27日(日)西九州高校島原大会
- サッカー.....23日(水)25日(金)県新人中地区予選



職員ペンリレー 樋口亜紀子先生 「毎日が本番」

私には好きなピアノ曲があります。自分にとっては難しすぎる曲ですが、昔からずっと憧れていた曲だったので挑戦することに決めました。

初めは、まるで口加高校の新生が入り大学入試の英語の長文を読むようなものでした。1つ1つの単語を全て辞書で調べるのと同じように、1つ1つの音符をたどるのにも苦労しました。様々な方法で練習をしました。その日の1回目の練習を本番だと仮定し、大事に弾く。数種類のピアノで練習し、色々な鍵盤のタッチに慣れておく。人に話しかけてもらい、無意識でも指が動くようにする。本番と同じ爪の長さで弾く。録音した自分の演奏を聴く。わずかな前髪の動きさえ気になるので、本番と同じ髪型で弾く。

本番と同じような環境での練習が重要なのは、入試や面接試験も同じです。面接試験と同じ服装で学校生活を送る。そして1時間の学科試験のために3年間勉強する。50分の授業のために1時間の予習をする。そうすれば、新入生だって大学入試問題が解けるようになります。

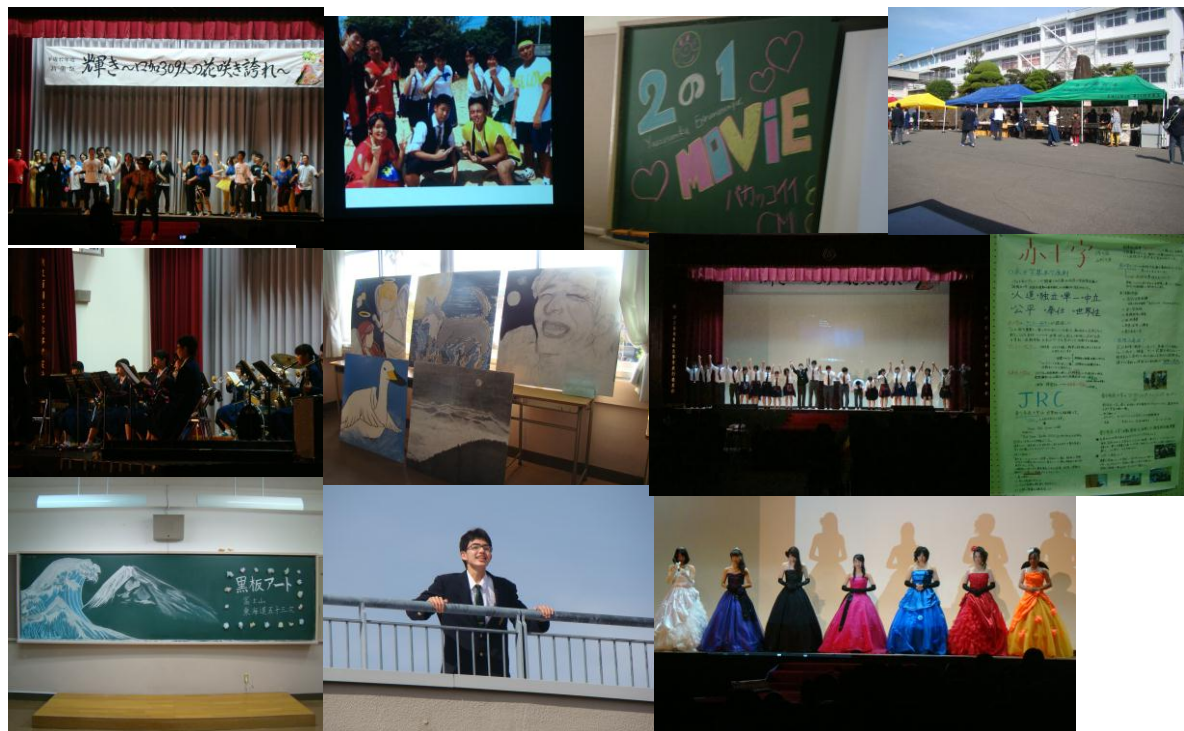
3分間の本番のために100日間練習した私の演奏は、昨日終わりました・・・。



菖蒲祭

『輝き』～口加309人の花 咲き誇れ～

10月31日(土)に菖蒲祭が行われました。各クラス・団体がステージや展示に趣向を凝らし、一人ひとりの花が咲き誇った文化祭となりました。生徒会が企画した「未成年の主張」も大変盛り上がりました。ラストを飾ったファッションショーでは、会場が大歓声に包まれました。多数のご来校、ありがとうございました。



- 1年1組「1の1 MOVIE」
- 2年1組「21人の女子と愉快的仲間たちで頑張ってみた」「D・A・N・C・I・N・G☆」
- 1年2組「ダンス☆ダンス」
- 2年2組「Let's enjoy dancing!」
- 1年3組「I 3 カレー」
- 2年3組「We are piece of shine」
- 1年4組「日本の風景」
- 2年4組「口加高校七不思議」

★今月の生活創造コース&1年生礎玉成園訪問★

《2年生》

- 11月13日(金) 若木保育園を訪問し、手づくりのペープサート「りょうりをしてはいけないなべ」を披露しました。
- 20日(金) 今年度4回目の乳幼児親子交流を行いました。

《1年生》

- 11月10・17日(火) 家庭基礎の授業の一環として、玉成園を訪問しました。今年度は、2クラスずつ訪問し、利用者の方との交流や施設見学などを行いました。高齢社会の現状について考える良い機会となりました。



心に響く人生の達人セミナー



11月11日(水)に人生の達人セミナーが本校体育館で開催されました。講師の大石一久先生は長崎県平戸市のご出身で、県内の公立高校で教鞭をとられました。教職最後で口加高校にお勤めになりその後長崎県文化振興課課長補佐、長崎歴史文化博物館研究グループリーダーを歴任されています。専門は石造学で、現在、日本石造物研究会副代表としてもご活躍です。主な著書に『日本キリタン墓碑総覧』『天正遣欧使節千々石ミゲルー 鬼の子と呼ばれた男』などがあり、各地でご講演もされています。

今回の講演は「世界地図に日本を描かせた少年たちー有馬が育んだ天正遣欧使節と二つの城ー」という演題で行われました。有馬セナリヨの第一期生として入学した4人の少年たちが、1582年、戦国争乱の日本を旅立ってヨーロッパへ渡り、西欧世界に、それまでほとんど知られていなかった日本の正確な地図情報と日本人の優秀性を知らしめたことや、彼らを育んだ有馬の地に焦点を当てながら、有馬文化を象徴する2つの城、日野江城と原城について、世界遺産登録の意義も含めて解説をいただきました。

郷土の歴史について認識を新たにするとともに、先生の学問に対する真摯な姿勢に多くのことを学ぶことができた、有意義な講演会でした。

校内弁論大会

校内弁論大会が、11月12日(木)に行われました。1・2学年の代表者4名がそれぞれの思いを堂々と発表しました。



最優秀賞

植木 比菜(2-4)「国際理解への第一歩」

優秀賞

飯田 亜衣(1-1)「上海研修で感じたこと」

井上 真由(1-2)「誰のため？」

芳澤 唯可(2-4)「食に対する感謝の心」

税に関する高校生の作文コンクール

平成27年度税に関する高校生の作文コンクールにおいて、1年4組 永友ほのかさんが島原税務署長賞を受賞しました。11月24日(火)に校長室にて賞状と記念品の授与式が行われました。



駅伝大会・全校応援

長崎県高等学校総合体育大会駅伝競走大会が、11月5日(木)雲仙小浜マラソンコースにおいて開催されました。本校は、陸上部から男女チームが出場したほか、多くの生徒が役員として大会運営に携わりました。また、他の生徒も折り返し地点となる男子5・6区の応援に行き、全校を挙げて大会を盛り上げました。

【大会結果】

男子 23位 女子 18位

